

令和7年10月21日

加古川市長 岡田 康裕 様

地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会
委員長 加堂 哲治

答 申 書

令和7年7月29日付で諮問のあった地方独立行政法人加古川市民病院機構の「令和6年度における業務の実績に関する評価」、「第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる業務実績の評価」、「第3期中期目標期間の終了時の検討」及び「第4期中期目標期間の目標策定」について、当委員会において慎重に審議を重ねた結果、下記のとおり答申します。

記

1 令和6年度における業務の実績に関する評価に関する事項

別添「令和6年度業務実績に関する項目別評価」のとおりとする。

なお、業務実績に関する評価にあたっては、当委員会の答申を踏まえ、適切に実施されるよう要望する。

2 第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる業務実績の評価に関する事項

別添「第3期中期目標の期間の終了時に見込まれる業務実績に関する項目別評価」のとおりとする。

なお、業務実績に関する評価にあたっては、当委員会の答申を踏まえ、適切に実施されるよう要望する。

3 第3期中期目標期間の終了時の検討に関する事項

加古川市民病院機構は、第3期中期目標期間においても、安全で質の高い高度専門医療を提供するとともに、地域の中核病院としての役割を果たすなど、業務実績は中期目標を十分に上回ることが見込まれる。また、多くの公的病院が赤字経営となる中においても安定した経営を継続し、申し分のない評価であることから、引き続き地方独立行政法人の形態で継続させることが適当であると判断する。

4 第4期中期目標期間の目標策定

別添「地方独立行政法人加古川市民病院機構第4期中期目標（案）」のとおり定めることが適当である。

以 上